

2 ノジギクの開花調節

ねらいと成果

ノジギクは1995年に兵庫県の花として認定されて以来、また善意の花として広く県民から親しまれてきた。県花であるノジギクを広く紹介し、園芸的価値を高めるためにも計画的な開花調節が必要である。そこで、自然温度下におけるシェード開始時期と開花時期との関係、つぼみの自然日長下での開花性を検討した結果、3～4月シェード開始で110日、5～6月開始で90日、8～9月開始で75日前後で開花始めになること、また8月下旬以降であれば自然日長でも形成されたつぼみは正常に開花することが明らかになった。

内容

シェード開始30～45日前にさし芽を行い、発根苗を4.5号鉢に1本鉢上げし、活着3日後に摘心、草丈10cm、9節前後に達した株を、10時間日長（7時～17時）で、栽培管理した（20時～翌朝4時までは夜間遮光カーテンを開放した）。

3月3日シェード開始で、72日後の5月23日に発らいし、119日後の6月29日に開花した。自然日長での11月13日開花に比べ、137日開花が早まった。以降8月1日まで漸次シェード開始をずらすことにより、10月中旬まではほぼ定期的な開花となった。シェード開始から発らいまでの所要期間は、低温期からシェードを開始した区ほど多日数を要し、花芽分化から発らいまでの日数は気温の影響を大きくうけると考えられた。発らいから開花始めまでは各処理とも53±6日以内で達しており、高温の影響は比較

的小さいと考えられた。

シェード栽培で開花始めに達した株が自然日長下におかれた場合のつぼみの開花性を検討した結果、8月30日以降の開花始めの株はその後の日長でもつぼみは次から次と開花し、開花期間は28日以上であった。しかし、7月28日以前の開花始め株では、つぼみは肥大生長せず、11月になって開花した。

普及上の注意事項

ノジギクは温度と日長をコントロールすることにより周年開花が可能であるが、着らい株を野外等の花壇に植える場合、日長が13.5時間以下となる8月下旬以降でないとは正常に開花しない。鉢花や花壇苗として取り扱う場合は日長時間を留意した出荷日としなければならない。

和田 修（中央農技・園芸部）

表 開花始めと自然日長下における開花状況

シェード開始時期 (月・日)	開花始め (月・日)	開花期間 (日)	小花数
3. 3	6. 29	7	3
4. 3	7. 17	7	5
5. 1	7. 28	7	5
6. 2	8. 30	28	269
7. 3	9. 14	35	183
8. 1	10. 16	42	206
9. 1	11. 13	42	217
自然日長	11. 13	43	228

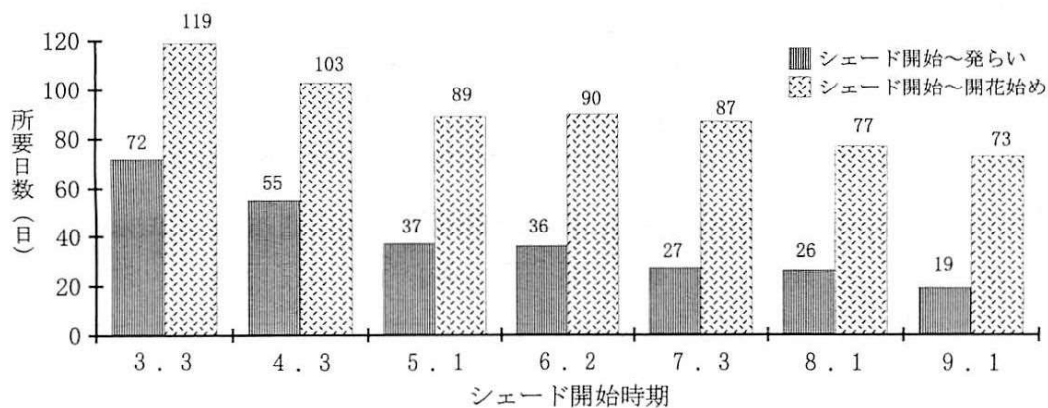


図 シェード開始から発らい、開花始めまでの所要日数